地版アクセス

毎月1回 1日発行 購読料 定価150円 (本体143円) 年間1,500円(税込み) 振替 00120-0-19017

発行所 ㈱地方・小出版流通センター 編集 アクセス編集委員会 〒 162-0836 東京都新宿区南町 20 TEL.03-3260-0355 FAX.03-3235-6182

第29回梓会出版文化賞特別賞を受賞して写真という大きな問いの器──☆

文・姫野希美





355mm × 257mm 本体価格8000円 150N-90345-92.X螺旋海岸 album 志賀 理江子著

●衝動的な出発

この度は梓会出版文化賞特別賞をいただくことができ、光栄に存じます。 赤々舎は2006年の春に設立し、もうすぐ8年が経とうとしております。スタッフは当初は私ともう1名、そして今は私も含めて3名という小さな出版社です。これまでに約110冊の本を刊行し、その9割以上が写真と現代アートの企画出版です。

私は10年ほど、京都の版元青幻舎にお世話になり、そこではデザインや建築も含めて美術の幅広いジャンルの本を制作していました。そんななかで、当時20歳代だった写真家たちとの出会いが鮮烈で、巻き込まれながら、写真集をつくることに大きな刺激を受けました。写真集やアートの本を集中してつくりたい、いち生きている作家とやりとりをしながら一冊ずつを生み出したいという気持ちから、勝手を言って独立させていたきました。もうひとつ、当時から写真集は採算がとりにくいものでしたが、それでもその売りにくいものこそ売って

いきたいという青臭い気持ちがありました。とは言え、なにか具体的な目処や計画があったわけではなく、自分が40歳となるのを目前にして、残された時間で何冊、納得のいく本がつくれるだろうという衝動にも似た行動でした。

こうして振り返りますと、いまだ端緒に過ぎないという思いでいっぱいです。幸い、この8年は、素晴らしい作家との出会いに恵まれ、彼らに導かれるようにして本をつくることができました。ほとんど業界や潮流を意識せず、少なくとも私ひとりはこんなに心動かされたということを出版の糸口にしてきたように思います。

●大きな問いの器

心動くということは、その作品はわけがわからないものであるということです。わけがわからない、混沌としたエネルギーを、私はとりわけ写真の力だと考えています。イメージの生命体としての在り方が、いちばん写真にはあるような気がしています。だからこ

そ、社会のなかに、「大きな問いの器」 として写真を差し出すことができれば と願っています。

昨年末の大きな喜びとして、先ほど 五十嵐太郎さんのお話にも出ました志 賀理江子さんの『螺旋海岸』が、世界 の「Photo Book of the Year」で幾つ もベスト1に推され、大橋仁さんの『そ こにすわろうとおもう』など他の写真 集も、多くの賞でノミネートされまし た。志賀さんは宮城県の北釜という村 落に数年間を暮らし、地域のカメラマ ンとして祭などの行事を記録しなが ら、作品を制作し続けてきました。そ れは北釜という土地の固有性を物語る ものではなく、写真というメディアと は何か、土地とともにある暮らしと表 現とは何かについて、志賀さんが自問 し追求してきた問いそのものの現れで した。また大橋さんの写真集は、繰り 広げられる性の現場が大きな話題を呼 びましたが、その肉の姿を通して、写 真による人類史を独自に描き出そうと した大作でした。

これらの写真集は説明もなく、存在としては忽然と世界の読者の前に出現します。見る人を大きな渦に巻き込むようなエネルギーは、もちろん作品の力であるとともに、写真集そのものが放つ強度も深く関わっていると思われます。日本において写真集はカタログではなく、作品を体現するものとして、デザイン・印刷・製本まで一体になりながら創意を尽くして発展してきたものだからです。

赤々舎は世界に出ていこうという ような意気込みからはむしろ遠いので すが、ただ当たり前のこととして、世 界の何処ともここは地続きであると思 い、一冊一冊を送り出していきたいと 思います。

●生きている場所に息づく本を

写真、写真と申し上げておりますが、

本当に気がつけばそうなっていたという具合です。私はカメラを持っておらず、写真の教育を受けたこともありませんが、写真によって思いがけない処に出てしまい、その都度わけもわからず身を投じているような感覚があります。編集者やディレクターと呼ばれるような役割でもありますが、その呼び、私はあくまで媒体に過ぎないという思いからでした。ある写真が孕んでいる可能性が本という姿になるときの、透明な媒体として居合わせている、その位

置は変わらないような気がします。

これからは写真やアートを核にしつつも、自分がもともと魅了されていた詩歌やダンスなどと出会い直していけることも夢見ています。どれも書籍としては現実的な困難を伴う分野ですが、だからこそ冒険もあると信じたいのです。つい先頃、写真集や絵本の販売について、思いみることもなかったような提案を受ける機会がありました。それがどのように結実するかはまるでわからない段階ですが、そうした兆しを心から喜びたい気持ちです。世

界との関わりの痕跡としてある写真、 生と死の間に存在する写真であればこ そ、いかなる枠や敷居も有することな く、私たちが生きている場所に本を息 づかせたいと願っています。

最後になりましたが、日頃よりお 力をお貸しくださり指導してくださる 皆様に心より御礼申し上げます。本日 は、このような挨拶の場をお与えいた だき、ありがとうございました。

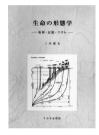
(1月16日、梓会出版文化賞贈呈式会場での受賞スピーチから/ひめのきみ・株式会社赤々舎代表取締役)

新刊ダイジェスト

※価格は総額(税込)表示です。



『生命の形態学 -地層・記憶・リズム』●三木成夫著



名著『海・呼吸・古代形象―生命記憶と回想』 にも明らかなように、三木成夫の本はどれも、地球ができて 45 億年、生命が誕生して 35 億年、 その生命・生物が海から上陸して今日に至るという背景のもとに書かれる。

本書は、冒頭、「らせん」と「リズム」を切り口に、 植物と動物の比較から始まる。 増殖と接合、 食と 性、 栄養と生殖をキーワードとして、 植物、 動物、 人間の個々の器官(消化系、呼吸系、循環系など)の発生に着目し、その形(形態)の変化を比較していく。こうして、生命現象つまり生命の本質に、植物、動物、人間の形態の変遷を比較しなが迫っていく。博覧強記、そのスケールの壮大さに爽快な気分を味わう。

◆ 2625 円・B 5判・246 頁・**うぶすな書院・**東京・2013/12 刊・978-4-900470-29-3

『マルクス主義』●倉田 稔著



今なぜマルクス主義か。ソ連崩壊後、政治上のマルクス主義は人気を失い、今まで通りには通用しない。だが、政治と学問は違うと著者は言う。では、アメリカ中心のグローバル資本主義が狂奔すると、マルクス主義が再来するのだろうか。マルクスはイギリスの経済発展を研究して理論構築した。

ところが皮肉にもイギリスでは理解されず、民

主化が遅れていたドイツで広まった。マルクス主 義が受け入れられた国に共通しているのは、議会 主義、政治的民主主義がないことだ。だから、「資 本主義国でも自由や民主主義を抑圧すると、資本 主義的政治勢力が政権の座から追い落とされるこ とはある。」とは卓見である。

◆ 1260 円・四六判・158 頁・成文社・神奈川・2014/1 刊・978-4-86520-002-7

『伊勢新九郎 −新説による戦国大名の先駆け北条早雲』●小林保一著



伊勢新九郎こと北条早雲は小田原北条氏の祖として知られるが、生前に北条氏を称した証拠はなく、謎多き人物だ。著者は70歳を過ぎてから中世史研究に取り組んだ歴史愛好家である。生誕伝承のある備中や伊豆経営の居城韮山地域に伝わる史料をはじめ、多くの研究書・参考書を渉猟し、定説に疑問を持つようになった。

特に出自や青少年期の動向は不明なことばかり

で、主君に従って都落ちしたとされることに対しては、伊勢氏の養子となった後に浪人生活を送り、そこでその後に行動を共にする大道寺氏ら六人衆と出会ったと考察する。いずれも推論にとどまっているのが残念であるが、問題提起の書として興味深い。

◆ 840 円· A 5判·93 頁·**歴研**·東京·2013/12 刊· 978-4-903991-88-7

『戦国の城は民衆の危機を救った −関東王国の平和を求めた八王子城主北条氏照』●中田正光著



いつの世でも領主は土地と民の支配者であったことに違いないが、織田信長が天下を鎮めるまで、すなわち乱世の時代においては、民衆の安全に関わる対策を施した地域優先型の価値観なくして領地は治められなかったという。その痕跡を、小田原北条氏二男北条氏照が居城した八王子城など東京都八王子市内の軍事遺構に見る。有力な証拠の一つが城内に設けられた池。水は城の生活や籠城

への備でもあるが、城周辺の地形、民衆の生活空間から、公的勧農(農耕推進対策)であったと分析する。さらに、城近くに神社仏閣を配したのは、信仰を在地支配関係の基盤にするためであることなど、斬新な視点から戦国という時代を浮かび上がらせる。

◆ 1575 円・四六判・201 頁・揺籃社・東京・ 2013/12 刊・978-4-89708-336-0

『動物園のなにげない一日』●みやこしさとし著



日本で初めて人工哺育で育ったホッキョクグマのピースをはじめ、人気者が多い愛媛県立とべ動物園。本書はその開園 25 周年記念事業として、機関誌「とべ ZOO」に掲載された漫画全 41 話に書き下ろし 4 話を加えて発行されたもの。

作者は現在サル類を担当する飼育員。ゾウの 運動場にできた水溜まりの中にある日突然おた まじゃくしを見つけ、自然の逞しさに感動したこ とが漫画を描くきっかけとなった。このエピソードは冒頭に登場する。日々の動物の仕草や行動から、また仲間の飼育員からのネタ提供で、小さな発見や驚きに満ちた心温まる内容となっている。各ページの欄外にミニ情報もあり、動物園がよりいっそう身近に感じられる。

◆840円・A5判・95頁・創風社出版・愛媛・2013/12刊・978-4-86037-200-2

『月と蛇と縄文人 ーシンボリズムとレトリックで読み解く神話的世界観』●大島直行著



考古学の世界では、出土品などの分類が目的化し、その型式研究や編年研究が中心になっていると著者は言う。またマルクス主義の影響で、出土品の経済合理性や機能性にばかり目を奪われているとも。二十世紀最大の宗教学者と言われるルーマニアのミルチャ・エリアーデの宗教学的視点を導入したネリー・ナウマンの著作に出会った著者は、これまでとは大きく異なる視座から縄文研究

に取り組むことになった。そして、土器や土偶から、貝塚、竪穴式住居、ストーンサークルに至るまで「死と再生」を意味する月のシンボリズムに 貫かれていると見て、出土品や遺跡のデザインに 見られる縄文時代独特のレトリックを、次から次へと解読して行く。

◆ 1890 円・四六判・277 頁・**寿郎社**・北海道・2014/1 刊・978-4-902269-67-3

地が版流通センタ

ジャンル別 新刊案内

2014 年 1 月 1 日〜 31 日 流通センター着

※各ジャンル内での出版社名は 所在地の北から南の順に並んでいます。

価格は総額(税込)表示です。

【雑誌】

- ◆あおもり草子 No. 221 佐藤 史隆編 A4 48頁 600 円 企画集団ぷりずむ [青森] 978-4-503-20120-1 14/02
- **◆ゆきのまち通信** 150 企画集

団ぷりずむ編 A5 50頁 500 円 企画集団ぷりずむ [青森] 978-4-503-20073-0 14/01

- ◆会津人群像 No. 25 阿部隆一編 B583頁 1260円歷史春秋社[福島] 978-4-89757-816-313/12
- **♦GREEN REPORT** 409

- 廣瀬 仁編 A 4 192頁 2800円 地域環境ネット [埼玉] 978-4-905457-41-1 14/01
- ◆ほおづゑ 第79号 福原 義春編 A5 159頁 500円 三好企 画 [千葉] 978-4-938740-89-4 14/01
- ◆子どもと昔話 No.58 小澤 昔ばなし研究所編 A5 79頁 830円 小澤昔ばなし研究所 [神 奈川] 978-4-902875-59-1 14/01
- ◆**詩とファンタジー** 第24号 やなせ たかし編 A4 96頁 1050円 かまくら春秋社 [神奈 川] 978-4-503-20115-7 13/12
- ◆**詩とファンタジー** 第25号 詩 とファンタジー刊行委員会編 A4 112頁 1260円 かまくら春秋

売行良好書

期間:2014年1月16日~2月15日

「出荷センター扱い」※税込み価格

(1) 『つるかめ食堂』1470 円・ベターホーム出版局 (2) 『実戦に強くなる ガチンコ語将棋』1155 円・双峰社 (3) 『草はひとりでに生える』1890 円・OEJ Books (4) 『点滴ポール 生き抜くという旗印』1470 円・ナナロク社 (5) 『フーリエの冒険 新装改訂版』3675 円・言語交流研究所・ヒッポファミリークラブ (6) 『アルコール依存症を知る!改訂版』1050 円・アスク・ヒューマン・ケア (7) 『図書館がまちを変える』1470 円・東京創作出版 (8) 『謎の独立国家ソマリランド』2310 円・本の雑誌社 (9) 『罠師 片桐邦雄』1680 円・鉱脈社 (10) 『もやし屋』1785 円・無明舎出版 (11) 『不登校は1日3分の働きかけで99%解決する』840・リーブル出版 (12) 『海で貝拾ってみませんか』1260 円・たけしま出版 (13) 『絵本とジャーナリズム』1260 円・「絵本で子育て」センター











[三省堂書店神保町本店 センター扱い図書] ※税込み価格

(1) 『東京かわら版 2月号』420円・東京かわら版 (2) 『昭和プロレスマガジン31』1000円・昭和プロレス研究室 (3) 『謎の独立国家ソマリランド』2310円・本の雑誌社 (4) 『乙女の読書道』1575円・本の雑誌社 (5) 『西丹沢登山詳細図』900円・吉備人出版 (6) 『捨てる女』1680円・本の雑誌社 (7) 『飲んだビールが5万本!』1470円・本の雑誌社 (8) 『奥多摩東部登山詳細図』800円・吉備人出版 (9) 『実戦に強くなるガチンコ詰将棋』1155円・双峰社 (10) 『パズル・ザ・ジャイアントVo1.27』1155円・ニコリ

[ジュンク堂書店池袋店 地方出版社の本一センター扱い図書] ※税込み価格

(1) 『ウォークマップ ホントに歩く東海道 第5集 元吉原~清水』1134円・風人社 (2) 『東丹沢登山詳細図 大山・塔ノ岳・丹沢山・蛭ヶ岳 全110コース』900円・吉備人出版 (3) 『那覇の市場で古本屋』1680円・ボーダーインク (4) 『THE BURGER MAP 首都圏版』1300円・幹書房 (5) 『居場所を探して』1680円・長崎新聞社 (6) 『デザインマンホール100選』1785円・アットワークス (7) 『基地で働く』2000円・沖縄タイムス社 (8) 『みまさか鉄道ものがたり』2310円・吉備人出版 (9) 『ぐうたら旅日記 恐山・知床をゆく』1365円・寿郎社 (10) 『西丹沢登山詳細図 檜洞丸・大室山・畦ヶ丸・大野山 全120コース』900円・吉備人出版

以下ホームページ等でも各種情報提供を行なっております。ご利用ください。 URL: http://neil.chips.jp/chihosho/ ツイッター公式アカウント:@local_small

トピックス --- ★★★

- ▼大雪の影響はいかがでしょうか? この数日 スーパーやコンビニにパン類が少なく、売り切れが続いていますが、首都圏へ供給するパン工場が中央道沿線(山梨方面)に集中していることに拠るとのこと。野菜はもっと影響地域が広く、栃木・山梨・茨城・千葉・埼玉・多摩に及ぶので当分高値が続くでしょう。消費税値上がりの前に家計には響きそうです。(センター通信 No.1319 2014/02/19より)
- ▼ 最近、図書館の民営化の成功例として九州・佐 賀の武雄図書館が取り上げられることが増えてい ます。これとは次元の違う図書館の動きとして、 北海道恵庭市の「街の図書館構想」があります。 街の喫茶店が、靴屋さんが、それぞれ個性にあっ た小さな図書館を併設して、その小さな図書館を なんとか有機的に結びつけたいという試みには、 この街に住む人たちの、地域のコミュニティを生 き返らせたいという強い意思を感じ取れます。競 馬好きの人が既に廃刊になっている競馬雑誌の バックナンバーをバッチリ揃え図書館として市の 発行する「図書館マップ」に登録して、「もうど こを探しても読めないから」と、遠方からやって 来る読者がいたり、観光客も増えているようです。 市井の読書家が意外な力を発揮しています。(セ ンター通信 No.1318 2014/01/30 より)

郵便販売のご注文方法

◎お名前、お届け先(郵便番号、住所)、 連絡先お電話番号、ご注文品の書誌名、 冊数の必要事項を明記のうえ、下記ま でFAXでご連絡ください。

◎送料は、冊子小包・メール便共実費でお送りさせて頂きます。基本的にメール便は、一冊210円でお送り致します。(メール便の到着は、発送してから3~4日かかります。)お急ぎの方、その他ご要望がございます場合はお気軽に下記までお問い合せ下さいませ。

◎なお書籍お買上総計(税抜き価格)が 5,000 円以上の場合は、送料をサービスさせて頂きます。

★地方・小出版流通センター

FAX: 03-3235-6182



三省堂書店

営業の ごあんない

神保町本店 4階 地方出版・小出版物フロア

営業時間 10:00 AM ~8:00 PM 〒 101-0051 東京都千代田区神田神保町1-1 TEL. 03-3233-3312(代)

URL. http://www.books-sanseido.co.jp

本店4階売場では、地方・小出版流通センター扱いの新刊全点のほか、地域別に書籍を取り揃えております。また、地域ならではのタウン誌、趣味の雑誌も扱っております。

